

## 「新しい生活様式」の実践について

福岡県立筑紫高等学校長

5月25日の分散登校開始、27日の学校完全再開から間もなく二週間となります。「新しい生活様式」は皆さん一人ひとりの日常生活に根付いているのでしょうか。「誰かがしてくれる」のではなく、「自分がやる」という当事者意識を持つことが大切です。「自分は健康だから」とか「若い世代は感染しにくい」という意識ではいけません。

「新しい生活様式」は「自分が感染しない」だけが目標ではありません。「他の人に感染させない」ことも大切な目標なのです。「新型コロナウイルス感染」の注意すべき特徴は「感染していても症状が出ないことがある。しかし、その状態でも他人に感染させるリスクがある」というところなのです。保健課より11の行動基準が示されています。その中でも特に重要なことは次の3点です。

- 1 登校したらすぐに石鹸で手を洗うこと。食事前も同様です。こまめに手指の消毒を行ってください。
- 2 教室など室内ではマスクを着用すること。
- 3 生活のあらゆる場面で、ソーシャルディスタンスを意識すること。校内だけでなく、登下校時も意識してください。

休校によりこれ以上授業を減らさないためにも、またみなさんが心待ちにしている体育大会開催を実現するためにも、生徒・職員が当事者意識をもって日常生活を過ごすことが重要になります。